

**幼児期**  
(学びの芽生え)

安心 成長 自立

**小学校**  
(自覚的な学び)



- ①知識・技能の基礎
- ②思考力・判断力・表現力等の基礎
- ③学びに向かう力、人間性等

- ①知識・技能
- ②思考力・判断力・表現力等
- ③学びに向かう力、人間性等

**接続期**

～5歳児後半

1年生4月～

＜幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿＞

主なおぼえ(●)および具体的な活動例(★)      主なおぼえ(◆)および具体的な活動例(◆)

＜1. 健康な心と体＞

- 見通しをもって自ら生活を楽しむ。  
★汗をかいたら拭く・衣服の調節を自分でする。  
★机、椅子での生活の経験・栽培活動(「ロケット」や「ソラマメ」)を通して食への関心
- ◆新しい環境に慣れ、健康な体や生活リズムを整える。  
★身の回りの整理整頓ができる。  
★1日の生活の流れを意識しながら、時間を守って行動する。  
★給食の準備の仕方、食事に関するきまりマナー、後始末の仕方がわかり楽しく食べる。  
★意欲的に運動する。

＜2. 自立心＞

- 諦めずにやり遂げ、自信をもって行動する。  
★集中する・遊び込む・挑戦する・繰り返す  
★当番活動
- ◆生活の流れを知り、自ら行おうとする。  
★身の回りの始末、整理整頓、授業の準備をする。  
★自分から進んで挨拶をする。  
★自分から人や物に進んでかわる。  
★授業に興味や関心をもち、学習への意欲をもつ。

＜3. 協同性＞

- 反らちと共通の目的に向かって考えを出し合い、協力する。  
★グループ活動・音楽会・劇遊び(「役作り」)・集団遊び・共同制作・伝承遊び
- ◆クラスの反らちや先生に親しみをもって接する。  
★活動に積極的に参加しようとする。  
★自分の思いを伝えたり、相手の気持ちを知ったりする。  
★困った時は、自分たちで解決しようとする。

＜4. 道徳性・規範意識の芽生え＞

- 自ら進んで、日常の挨拶や場に合った挨拶をする。  
●良いこと、悪いことがあることを知り、相手の思いや考えを知り、行動しようとする。  
●園内外の様々な人と触れ合う中で、親しみをもつ。  
●地域や愛ガードの方、園外施設関係者、ルールやマナー等
- ◆自ら進んで、日常の挨拶や場に合った挨拶をする。  
◆学校のルールを知り、守ろうとする。  
◆交通ルールを守り、安全に気を付けて登下校する。

＜5. 社会生活との関わり＞

- 周りの人に親しみをもち、自分かかわろうとする。  
●自分が役に立つ喜びを味わい、積極的に行動しようとする。  
●過ごしやすい生活を自らつくろうとする。  
●困った人を助ける等、相手に対する思いやりをもつ。  
●反らちと共通の目的に向かって力を出し、達成感を味わう。  
●いろいろな仕事があることを知る。  
●幼稚園・小中交流体験、園外保育(施設訪問等)
- ◆様々な人に、自分から親しみの気持ちをもって接する。  
◆挨拶、返事  
◆自分の良さや可能性に気づき、意欲的に行動しようとする。  
◆過ごしやすい生活を自分で考えようとする。  
◆相手に対する思いやりをもって行動する。  
◆反らちと出会い、相手の良さに気づき、互いに認め合う。  
◆当番活動等

＜6. 思考力の芽生え＞

- 考えたことを試したり、工夫したりする。  
●自然現象や社会現象等を生活や遊びの中に取り入れる。  
●ルールや発展(水作)たこ作り(こま等)  
●素材や材料の特性を知り、活用方法を考える。  
●紙やダンボール等を使って、イメージを膨らませながら制作する。
- ◆好奇心をもって、ものにかかわる。  
◆予想する、試してみる、調べてみる、確かめてみる。  
◆自然現象や社会現象等を学習する。  
◆新しい課題に挑戦しようとする。  
◆これまでの経験を生かして、気づき、発見したことをもとに楽しみながら思考する。  
◆めあてに沿って考えを交流する。

＜7. 自然との関わり・生命尊重＞

- 季節の自然現象に気づき、自然の変化や不思議さを感じ、確かめたり、発見や驚きを伝えたりする。  
●食べ物・動物の観察・秋の白き  
●世話をしながら、自然の営みを知る。  
●園やクラス・グループ等の観察  
●身近な自然に触れ、春の訪れに気付く。  
●おぼえや観察(梅・桜・水輪等)  
●小動物に触れ、世話をしたりする中で、生命の大切さを知る。
- ◆身近な自然にふれる中で、春の訪れに気付く。  
◆校内や地域等につけ、春を探る。  
◆空、雲の様子に気付いたり、風を全身で感じたりする。  
◆自然や小動物等の生命を大切に知る。  
◆生体に関心をもち、生命の大切さを知る。  
◆世話をしながら、栽培や飼育方法を考える。

＜8. 数量・図形、標識や文字などへの関心・感覚＞

- 文字や数字、図形に興味や関心をもち、自ら活用して遊ぶようになる。  
●カルタ・すごろく・手紙ごっこ(文字スタンプ、あいさつお表)・言葉あそび(しりとり、言葉あつめ、絵本)・たこ作り  
●標識や文字の役割に気付く。  
●小学校一日体験や遠足の交通標識等の確認
- ◆生活や遊びを通して数えたり読んだりする楽しさを味わう。  
◆校内の表示・時間計・名札・プリント類等  
◆教科書を見る、読む。  
◆絵本の読み聞かせ・読書  
◆整列・クラスの席次等順番を数える。  
◆数を数える(集団遊び・配膳等)  
◆標識や文字の役割を知る  
◆通学路や地域教育等

＜9. 言葉による伝え合い＞

- 言葉で伝えることの大切さを知る。  
●困ったことがあった際、自分の言葉で伝える。  
●トラブル時の話し合いをする。  
●様々な言葉や表現を身につける。  
●劇遊び・絵本の読み聞かせ  
●経験したことや考えたこと等を言葉で伝える。  
●ふり返り(園々・グループ・クラス・園全体)  
●思いが伝わり合う喜びを感じる。
- ◆自分の思いや考えを、言葉で相手に伝えることを楽しむ。  
◆相手の話をしっかりと聞こうとする。  
◆わがままなことや付いたことを発表する楽しさを知る。  
◆ペア学習・グループ活動・発表(授業、1分間スピーチ、ふり返り等)  
◆先生や反らちと話したり、質問したりして伝え合う。  
◆授業の中で、休み時間・トラブル時の話し合い  
◆絵本や物語に興味をもち、聞いたり自分で読んだりする。

＜10. 豊かな感性と表現＞

- 反らちと気持ちを合わせて、歌う心地良さを味わう。  
●生活や遊びの中でイメージを豊かにし、感じたことや考えたことを動き、言葉、音、絵画制作等でのびのびと表現する。  
●いろいろな表現方法を知り、反らちと一緒に作り上げていく楽しさを味わう。  
●自然や社会現象に触れ、美しさや不思議さ等の感性を培う。
- ◆経験したことや考えたこと、感じたこと等を自分なりに表現しようとする。  
◆絵や言葉で表現して反らちと伝え合う。  
◆創造力豊かに描いたりつくったりする。  
◆音楽に親しみ、歌ったりリズム遊びをしたりする。

遊びや生活の中で、幼児期の特性に応じた「見方・考え方」や資質・能力を育む学び。

5領域

健康

人間関係

環境

言葉

表現

幼児教育

- 5領域(健康、人間関係、環境、言葉、表現)を総合的に学んでいく教育課程
- 子どもの生活リズムに合わせた1日の流れ
- 身の回りの「人・もの・こと」が教材
- 総合的に学んでいくために工夫された環境構成

教科等の特質に応じた「見方・考え方」や資質・能力を育むとともに、教科横断的にそれらを総合・統合していく学び。

教科

国語

算数

生活

音楽

図画工作

体育

道徳

特別活動

小学校教育

- 各教科等の学習内容を系統的に学ぶ教育課程
- 時間割に沿った1日の流れ
- 教科書が主たる教材
- 系統的に学ぶために工夫された学習環境